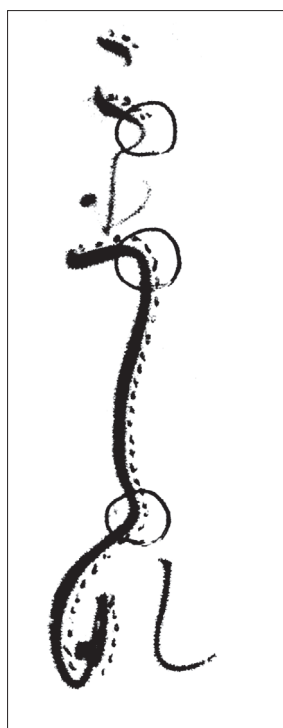


升色紙

第二回

- 1、字句「悲し那」
- 2、形式「半紙」を使用して、大筆で一行に臨書し、左余白に本文に添う大きさを「〇〇臨」と入れる。



3、概観

「升色紙」の特徴は、墨量や墨の濃淡の思い切った変化による立体感あふれる作品構成にあります。また、文字を重ねたり、行と行とを重ねたりする変化の妙は、同時代の古筆には見られないもので、後世の学ぶ者にとって真似してみたくなくともあります。

このような作品構成に近づくためには、升色紙における運筆や、升色紙特有の連綿、そして散らし方等について大きく臨書して学んでいくことが大切であると思います。

4、各字のポイント

①「た」の筆圧を意識して「へ……」の部分

こ 鋒先をゆっくり沈めると同時に、たの筆圧をかけて二筆目へ。鋒先だけで連綿して「悲」へ。

悲 最終筆の「し」への連綿線と「し」は、たの筆圧をかけて。

那 「し」からの連綿と「那」の一・二・三筆目まではたの筆圧をかけて。最終筆は、軽くゆっくり筆を運ぶ。

②「息の長い連綿」を意識して「〇」の部分

「こ」から「悲」への連綿、「悲」から「し」への連綿、そして「し」から「那」への連綿の共通点は、転折部分「〇」に一呼吸があるということ。決して、スピードを出して直線的に連綿しないということを、大きく臨書することで確認してほしい。

半紙臨書課題 宮 絢子先生担当

(4月22日締切) 出品料440円

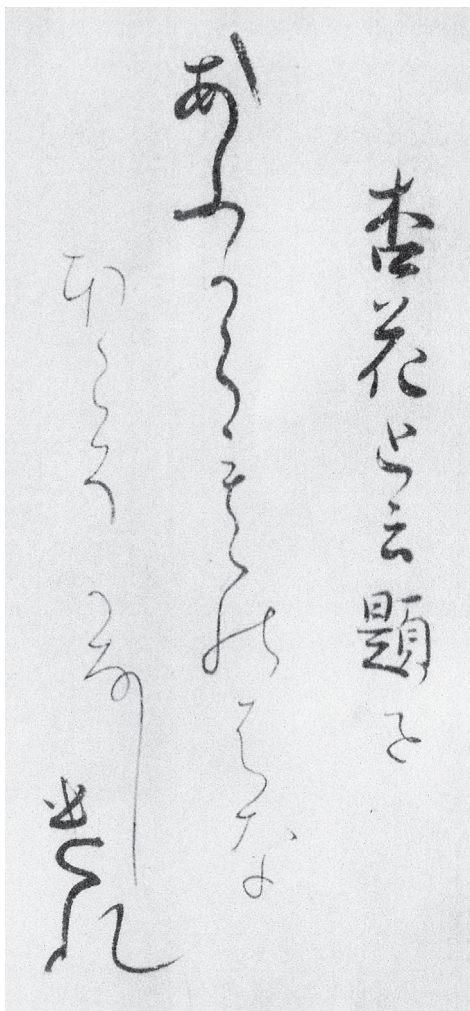
一字書課題

(四月二十二日締切)

衆

- (1)書体自由 (2)半紙タテ
- (3)落款は余白に調和を工夫し書き入れる
- (4)出品料 四四〇円
- (5)バーコード券の余白に「一字書」と記入

条幅随意参考



※抜粋可。条幅は一枚目無料、二枚目から五五〇円。半紙随意部(無料)にも出せます。条幅部に出品する場合はバーコード券余白に「条臨」と記入。

『杏花と云題を(題の部分) あふ可ら毛、能者な本こそ可奈し遣れ』題と三句分を工夫して半切に収める。筆圧の変化に注意して臨書し、調和を考えて「〇〇臨」と入れる。

条幅部漢字課題参考

(四月二十二日締切)

A

高橋香樹会長書

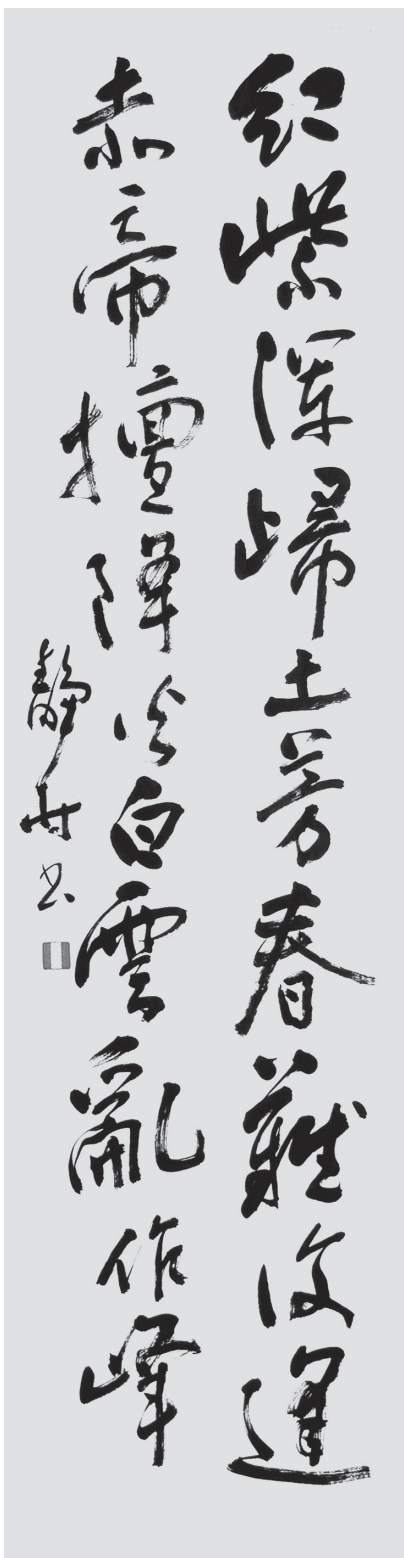
紅紫渾歸土 芳春難復逢 赤帝擅降火 白雲亂作峰 (正岡子規)
紅紫、渾て土に帰し、芳春復逢い難し。赤帝、擅に、火を降り、白雲、乱れて峰を作す。



B

鈴木静村先生書

二十字の課題。行の流れは連綿線によって表出することが多いが、今回は、連綿線を使わず、単体にて流れを表出。懸針が多くある為、質・方向・長さに意を用いた。普段は、渴筆を多くしないようにと考えていますが、今回は墨が少し濃かった為が多くなってしまった。墨継ぎは「春」と「降」。



紅 糸偏の形、上天下小で得意。紫 草書で字幅。渾 草書の一体。帰 縦長行書で字幅。逢 之繞に暢びを。帝 四画目、点の意識。擅 「回」部大に。白 墨継ぎ。雲 「凸」を意識。乱 字体多い、字典参考。峰 右行「逢」より上に。

訳：紅く紫の美しい花も散って、土に帰り、かぐわしい春はもう過ぎてしまった。夏を支配する神様は、やたらに火のような熱気を降りそそいでくるし、白雲は乱れて山のようにこずたかい。

予告 (五月二十二日締切)

春風得意馬蹄疾 一日看盡長安花 (孟郊)

◆注意

- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み (1) と記入する。)
- ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み () に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

条幅部かな課題参考

(四月二十二日締切)

A

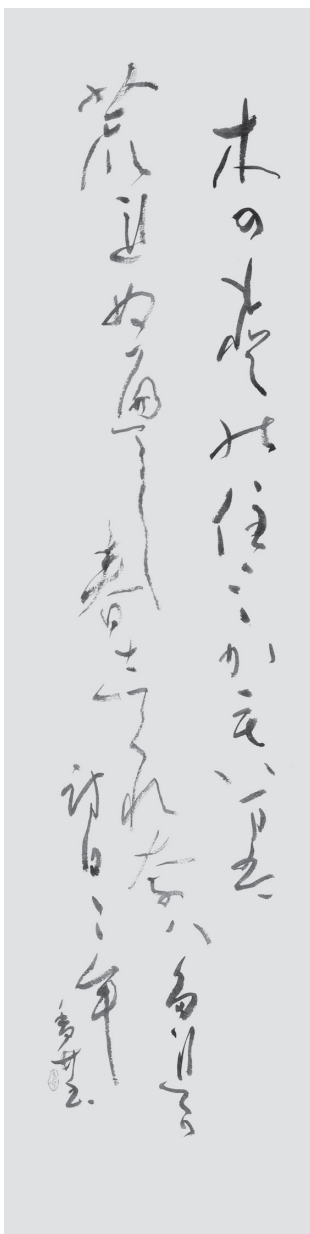
平岡華雪先生書

木のもとすのみかも今はあれぬべし春しくれなばたれか訪ひこん(む)(新古今和歌集 大僧正行尊)
木の茂との春三かもい萬はあ連ぬへし春志久連なはた連か登日故ん

B

青柳香竹先生書

木のも登能住三か毛い万盤荒連ぬ遍し春志久れ奈八多連可訪日こ牟



大僧正行尊

(一〇五五—一二三五)

大津の三井寺の僧となつた。74代鳥羽天皇のとき、延暦寺の座主、後に大僧正となる。歌集『行尊大僧正集』『金葉集』がある。

新古今和歌集に11首ある。また百人一首の「もろともにあ者連と思へ山桜花より外にしる人もなし」はよく知られる。

学び方

歌意…木の下のが草庵も今は荒れてしまふであらう。春が暮れてしまったら、花もなくだが訪れてこよう、だれもこないだろう。

三行書きにしました。一行目は単体が多く、二行目は少々右にゆらぎを入れ、連綿と潤渇の変化、そして細・太を表出しました。終句は潤筆で終わる標準的な墨継ぎです。三行書きは、行間の余白を気にしながら美しく見えるよう、墨色、それぞれの字幅等を考えて配置することが大切です。

予告 (五月二十二日締切)

山道に昨夜の雨の流したる松の落葉はかたよりにけり (島木赤彦)

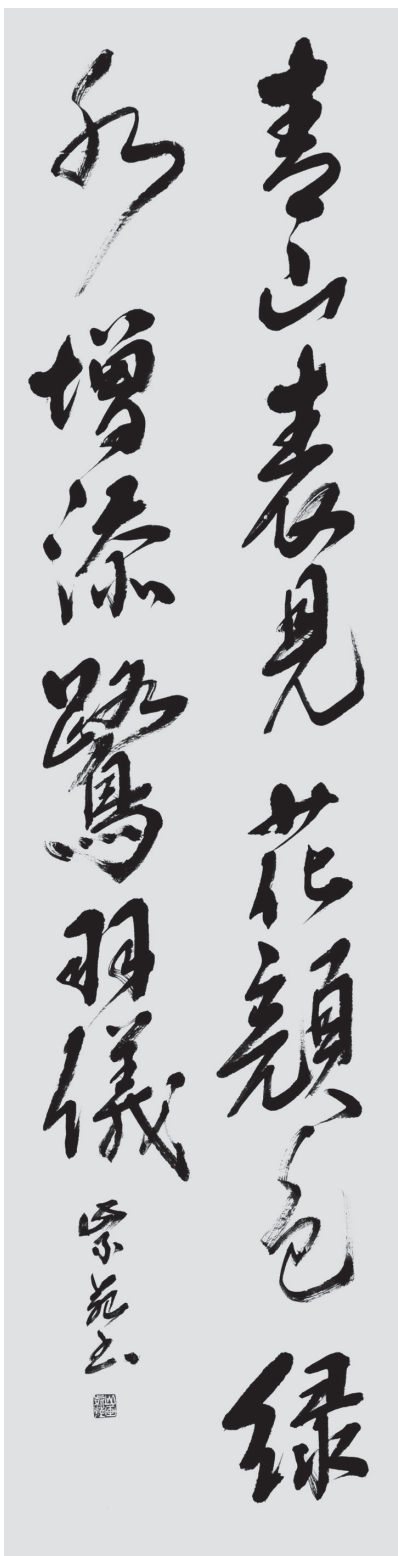
◆注意

- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品 (バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

条幅部随意参考

山田紫苑先生書

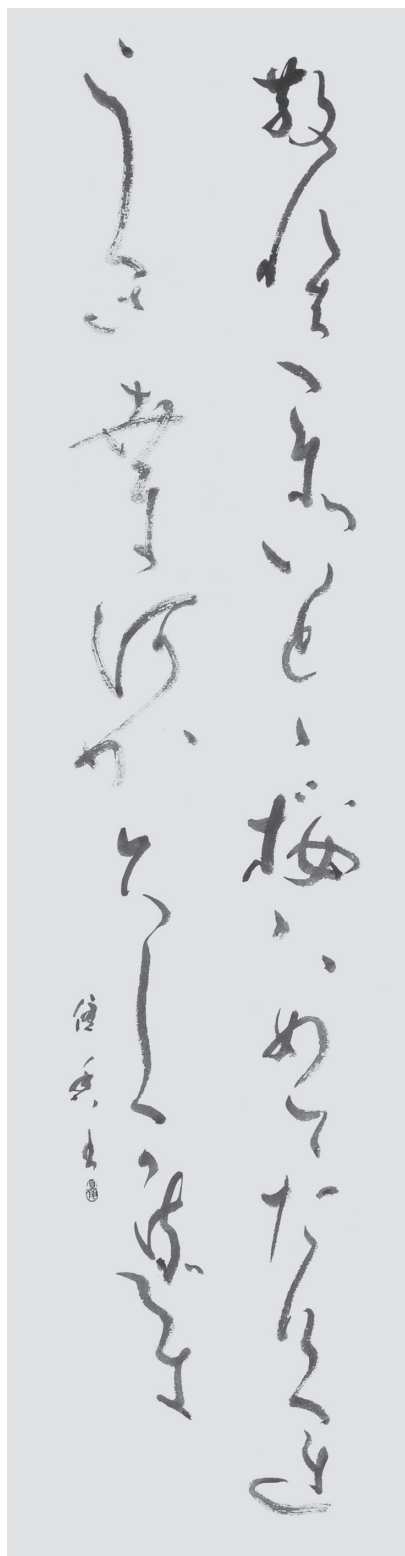
青山表見花顔色 緑水増添鷺羽儀（趙章泉）
青山表見す花の顔色、緑水増添す鷺の羽儀。



訳：青々たる山は美しい花のかんばせをあらわし、みちあふれる緑水は鷺のすがたをととのえるのによろしい。

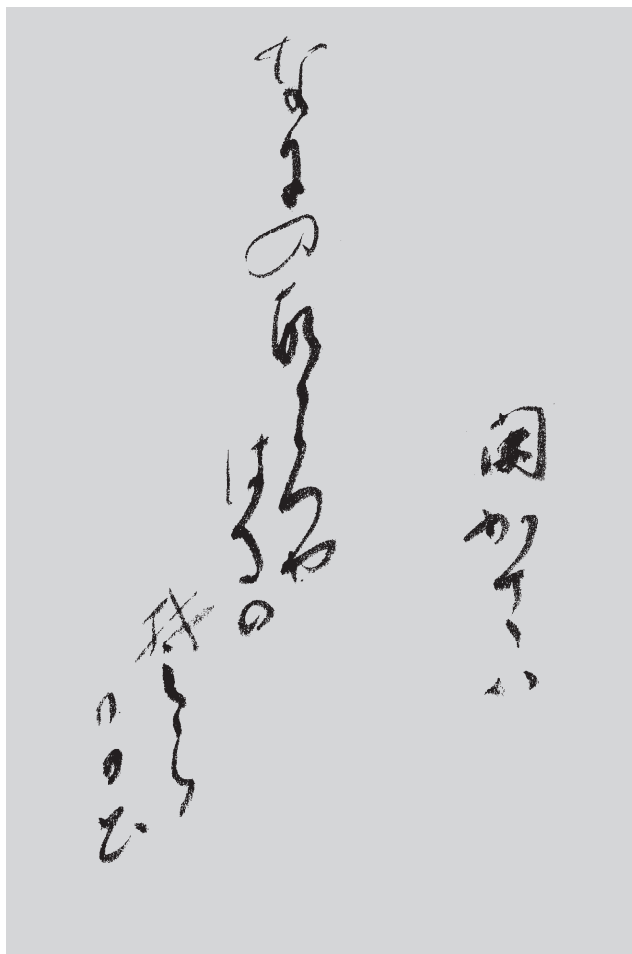
本澤優香先生書

散ればこそいとど桜はめでたけれうき世に何か久しかるべき（伊勢物語 在原業平）
散れ者こそいと、桜はめでたけれうき世に何か久しかるべき（伊勢物語 在原業平）



- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（１）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料550円）

かな部課題参考 (四月二十二日締切)



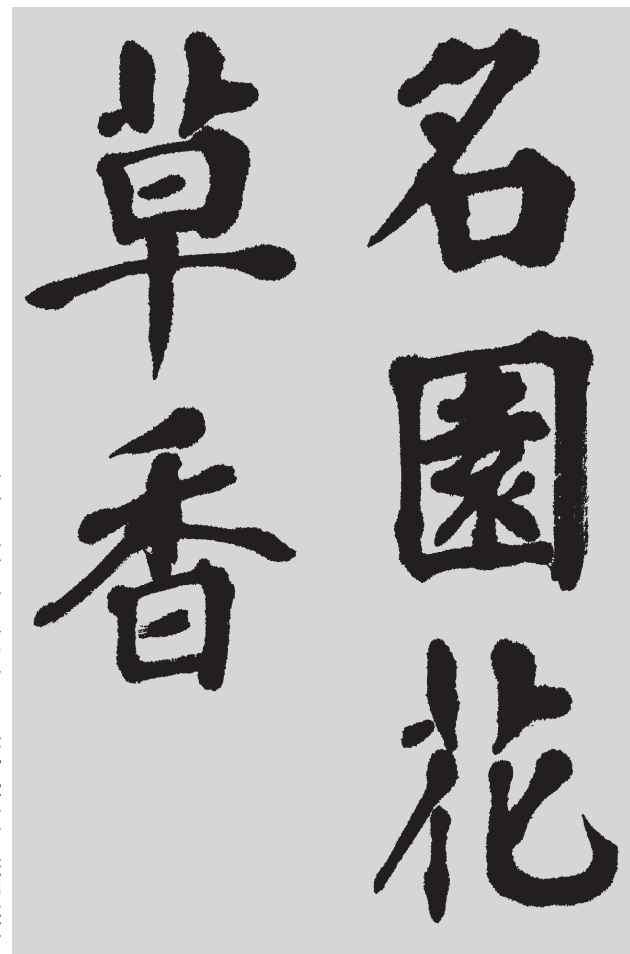
(五月二十二日締切)

高からぬ花となりゆく卯月かな (閑更)

平岡華雪先生書
閑かさは何の心やはるのそら (千代女)
閑かさハナルの故、ろやはるの楚ら

《構成とバランス》
上の句四文字一行書きを右辺に離して、中の句を中央に配し、下の句「はるの」を寄せて、主調となしている。「楚ら」をやや離し、落款と群をつくり、全体を締めている。

漢字部課題参考 (四月二十二日締切)



平岡華雪先生書
名園花草香し。(杜甫)
訳：百花はもゆるように咲きみだれている。

《余白に留意して》
「名」二画目強く転折。
「園」の分間の処理に留意し、余白が均等化されるよう運筆。
「花」「草」くさかんむりの縦画は長く出す。



(五月二十二日締切) 泉流見道心 (莊宝書)

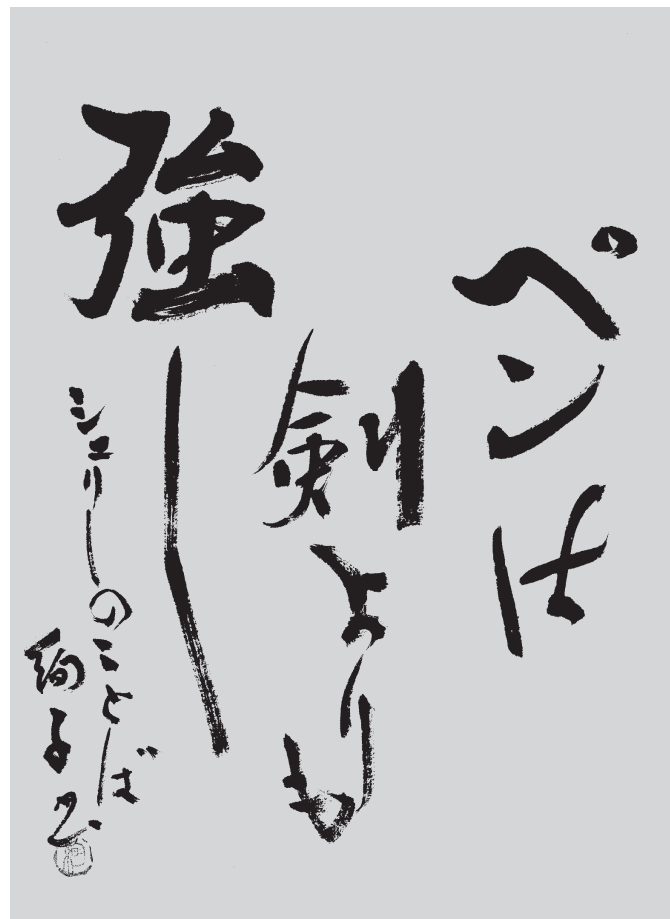
◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に①～④を記入し、作品左隅に貼付の上、出品して下さい。一般会員は無料、会員外出品料は460円。

①出品部門(例：「漢字部」「かな部」) ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

宮 絢子先生書

ペンは剣よりも強し
 (パーシー・ビッシュ・シェリー (1792〜1822) イギリスの詩人)

漢字かな交じりの書課題参考 (四月二十二日締切)

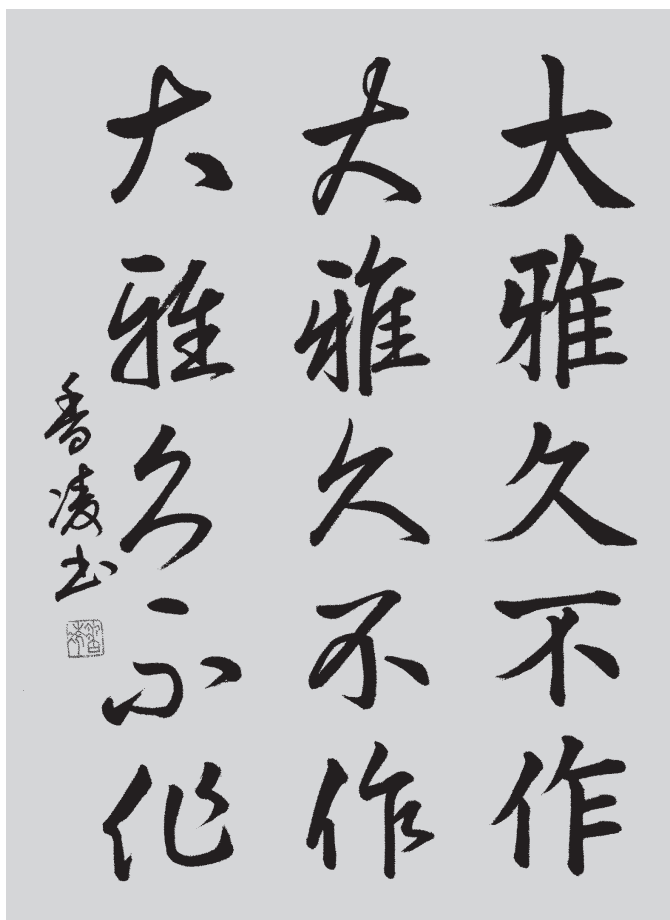


(1)出品料550円 (2)バーコード券余白に「漢か」と記入

短いことばです。世界では終わりの見えない戦いが続いています。ペン即ち「ことば」こそが平和につながる武器であるはず。そんな思いで一気に書きました。
 毎月の漢字課題を書いているその筆で、ひと思いで書いてみましょう。運筆の遅速と、筆圧の変化は自分で工夫してみてください。

高橋香凌先生書

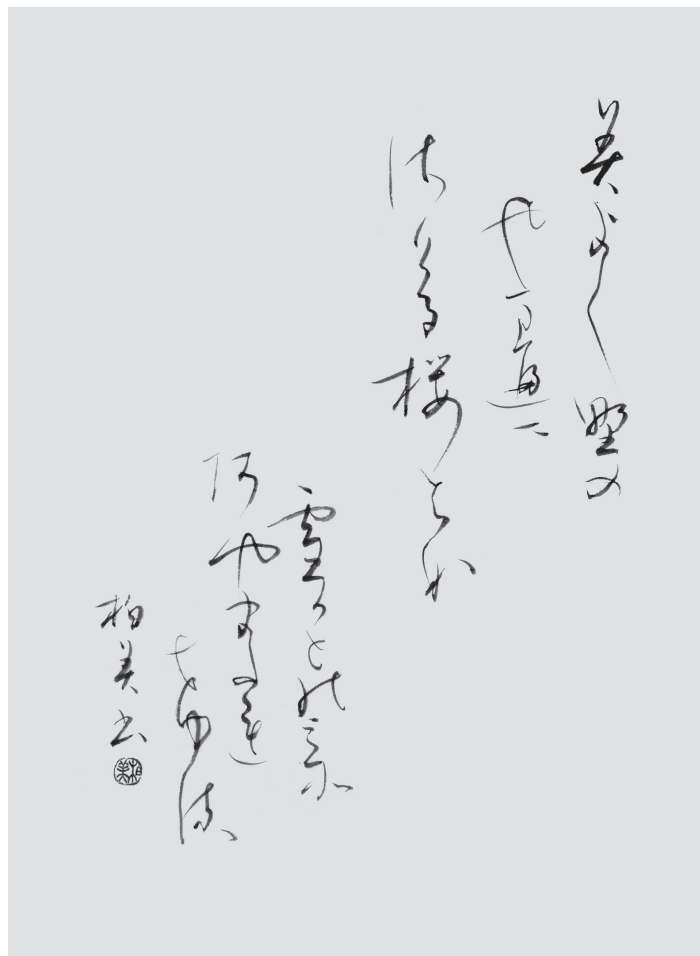
大雅久不作 (李白)
 大雅 久しく作らず



(1)随意部参考として出品してください。(2)会員外の出品料は460円。

訳：『詩経』の「大雅」に歌われたような正しい詩歌、それは久しく廃れたままだ。

随意部参考

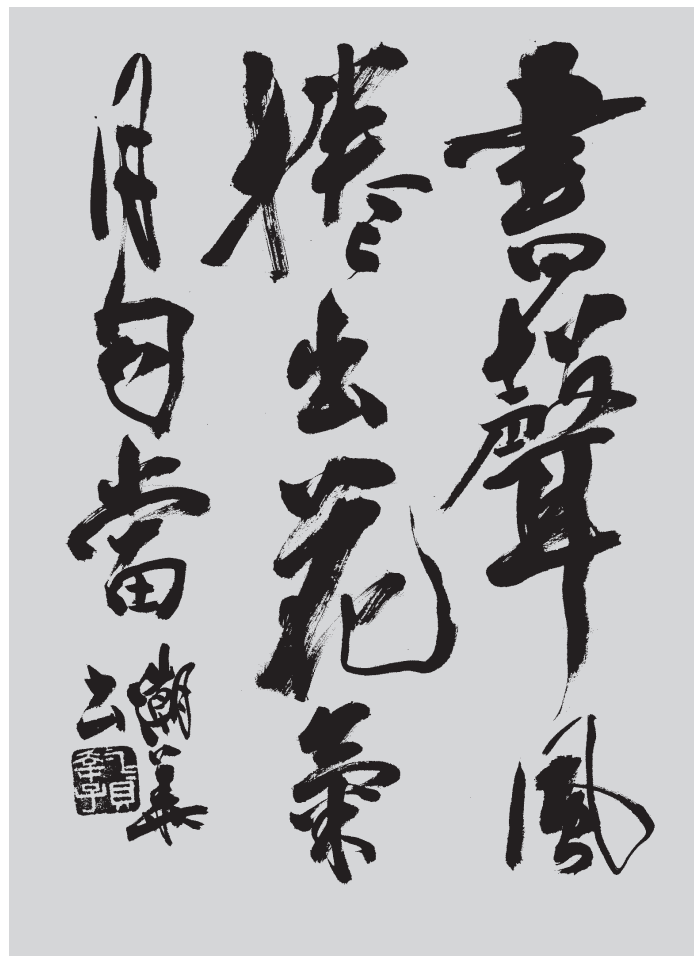


石島 柏美先生書

み吉野の山辺にさける桜花雪かとのみぞあやまたれける (古今和歌集 紀友則)
美よし野のや万遍二佐介の桜者那雪可と能三所阿や末多連希流

訳：読書の声は風に送られて聞え、花の香りは月中より月が故意に送るに似ている。
※勾当：事務を担当すること。

随意部参考



水貝潮華先生書

書聲風捲出花氣月勾当 (張鵬)
書聲風捲き出で、花氣月勾当す。

(1)随意部参考として出品してください。(2)会員外の出品料は460円。

硬筆部課題参考

(四月二十二日締切)

湯澤春翠先生書

石原春香先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)

花の便りに心の弾む季節となり
ました。ますますお元気で過ごしの
ことと存じ、お喜び申し上げます。

自然と人間とを問わず、自分の外界に
対し、鋭敏に反応し、それを言葉に
移し替える優れた能力を有していた
紫式部は長大な物語を紡ぎ出した。

課題1 (初段階以上)

自然と人間とを問わず、自分の外界
に対して鋭敏に反応し、それを言葉
に移し替える優れた能力を有してい
た紫式部は長大な物語を紡ぎ出した。
〔響映する日本文学史〕 島内裕子

お詫びと訂正

二月号掲載(3月22日締切) 課題1に
ついて「夢」(1字目)の真ん中の「」
の部分が抜けていました。こちらをご
参考にお書き下さい。

夢

お詫びして訂正いたします。

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を
使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)
はじめて出品される方は私製の紙
(3×4 cm位に) 次の4項目を記入
して作品左下隅に貼って出品して
下さい。①硬筆部②支部名または
都道府県名③氏名または雅号④新
会員は無料・会員外は四六〇円
- (5)

課題2 (初段階以下)

花の便りに心の弾む季節となりまし
た。ますますお元気で過ごしのこ
とと存じ、お喜び申し上げます。

(手紙文)